

1 教育目標

やさしさと思いやりで 笑顔がいっぱい  
～認め合い、励まし合い、ステップアップ山里っ子～

2 学校経営方針

|         |                                                                                                                   |                                            |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| めざす子ども像 | やさしさと思いやりの子どもたち<br>○や～やさしく思いやりのある子ども<br>○さ～最後までやり通すたくましい子ども                                                       | ○ま～まわりのことを考えて行動する子ども<br>○と～友達と共に学び、認め合う子ども |
| めざす教職員像 | やさしさと思いやりの職員集団<br>○一人一人の子どもに寄り添い、認め励ましながら子どもを伸ばす教職員<br>○子どもの手本となり、子どもと共に成長できる教職員<br>○互いを認め合い、助け合い、プロ意識と信頼でつながる教職員 |                                            |
| めざす学校像  | 笑顔がいっぱいの学校<br>○一人一人が安心して学び成長する学校<br>○保護者や地域の期待に応える学校                                                              | ○期待を胸に登校し笑顔で帰れる学校<br>○みんなが誇りに思える平和な学校      |

3 重点目標

- 1 「被爆体験の継承と平和の発信、そして平和の創造」の具現化を図る。
- 2 支援を要する児童をきめ細かに指導し、特別支援教育の充実を図る。
- 3 現行学習指導要領の確実な定着を目指して、日々の授業改善に努め、さらなる学力向上を図る。
- 4 基本的な生活習慣の定着を図るとともに、いじめの早期発見・早期対応を行う。
- 5 子ども同士のよりよい関係や支持的風土を築く。
- 6 進んで運動に親しみ、健康でたくましい心身の育成を図る。
- 7 環境が人をつくり、人が環境をつくることを認識し、教育環境の充実を図る。
- 8 学校は地域の中の一員であることを自覚し、開かれた学校づくりに努める。
- 9 連携教育の充実を図る。
- 10 教職員同士の対話や行動を推進し、仲間意識向上と働き方改革への意識向上を図る。

4 自己評価

| 領域    | 項目        | 質問内容                      | アンケート結果<br>(肯定的割合・%) |     |     | 分析及び改善策                                                                                                                        |
|-------|-----------|---------------------------|----------------------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |           |                           | 児童                   | 保護者 | 教職員 |                                                                                                                                |
| 学校経営  | 教育目標      | 教育目標を達成している               | 94                   | 98  | 94  | ○教育目標については、児童、保護者、職員ともに意識し、その達成のための取組が成果に結び付いていると捉えられる。                                                                        |
|       | 学校の雰囲気    | 明るく楽しい雰囲気である              | 90                   | 95  | 97  | ○学校の雰囲気についても、児童、保護者、教職員において高評価であるため、現在の状況を維持していきたい。                                                                            |
|       | 組織運営      | 校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している   |                      |     | 94  | ○「校務の縮減・効率化」については、「働き方改革」の取組が広がり、学校現場でできる限りのことに取り組んできた。現場でできる校務の縮減・効率化、業務の改善には限界があるのでなかなか厳しい状況だが、これからも、職員の声を拾いながら、さらに改善に努めていく。 |
|       | 業務の改善     | 校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している   |                      |     | 97  |                                                                                                                                |
| 心の教育  | 生活・生徒指導   | ルールやマナーを身に付けている           | 95                   | 99  | 91  | ○生活委員会を中心として、挨拶強調月間や挨拶名人を放送で称賛するなどに取り組んだ。今後も教職員が進んで挨拶していくことで児童の挨拶向上につなげていく。また、今後も毎月の生活目標を充実させ、基本的な生活習慣をさらに身に付けさせていきたい。         |
|       |           | 挨拶をよくしている                 | 91                   | 85  | 82  | ○あ・は・は運動は、他と比べるとかなり低い値ではあるが、年々肯定的割合の数値が上がってきている。学校だよりや生活指導のプリントの配布の際に、あ・は・は運動について掲載した効果が確実に出ていていると思われる。来年度も継続して周知を図りたい。        |
|       |           | 「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)    | 86                   | 73  | 84  | ○いじめ防止には、昨年度の保護者評価が89%から3ポイント上がる等、全体的に向上が見られた。                                                                                 |
|       |           | 教職員は悩みや相談に親身に対応している       | 95                   | 92  | 100 | 「いじめ防止基本方針」の刷新、いじめに関する職員研修、「お悩み相談フォーム」の運用等、いじめ防止に向けて取組は今年度かなり強化されたものと考えている。                                                    |
|       | いじめ防止対策   | 学校はいじめ防止のための対策をとっている      | 94                   | 92  | 100 | ○平和教育の評価が高いのは、力を入れている本校ならではの結果だと受け止めている。今の取組を、今後も継続深化させていくことが大事だと考える。                                                          |
|       | 人権教育      | 生命や人権を尊重しようとする心が育っている     | 95                   | 98  | 91  | ○特別支援教育については、今年度は年間を通じての巡回相談と必要に応じて校内支援委員会もかなりの回数を行った結果、数多くの対象児童の支援を行うことができた。                                                  |
|       | 平和教育      | 平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている | 95                   | 97  | 97  |                                                                                                                                |
| 確かな学力 | 特別支援教育    | 学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている     | 95                   | 93  | 100 | ○被爆校として1年を通して平和教育を行い、年3回の平和集会や平和ウォークラリー等を通じて学びを深めている。今年度は被爆80年の取組も行ってきた。この特色ある取組を今後も大切にしていきたい。                                 |
|       | 特色ある学校づくり | 伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている   | 97                   | 99  | 100 | ○キャリア教育については、一部の学年ではあるがゲストティーチャーを招いて話をしていた。                                                                                    |
|       | 学習指導・教育課程 | わかりやすい授業を行っている            | 95                   | 85  | 97  | ○家庭学習の習慣化については、高い数値ではあるが、昨年度から若干どちらも下落している。宿題でのAIドリルの活用などは定着しているが、自主的な学びについてはまだまだ改善の余地があると考えられ、学力向上プランに沿った家庭学習のさらなる充実を図っていきたい。 |
|       |           | 家庭学習の習慣が身に付いている           | 90                   | 89  | 100 |                                                                                                                                |
|       | キャリア教育    | 将来の自立に向けて適切に指導している        | 85                   | 89  | 82  |                                                                                                                                |

|         |                     |                           |    |    |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|---------------------|---------------------------|----|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健やかな体   | 保 健 ・ 衛 生           | 衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている    | 97 | 91 | 100 | ○メディア安全指導教室は、実施時期や実施形態の変更等、保護者の参加が増えるような工夫をする必要がある。<br>○本校は年に3回げんきアップカードを実施している。カードを配付する前に、学級で指導を行うことで、前向きに取り組むように促す。<br>○教職員の評価が最も低い体力向上について、校務用パソコン内でカリキュラム・指導案をすぐアクセスできるようにし体育科授業の充実を図ったり、運動場にストラックアウトやキックターゲット等、児童が楽しみながら運動できる環境づくりに努めたりする等、改善に向けた対策を行っている。少しずつではあるが、体力向上に向けて、意欲付けや達成感を得る機会を増やしていきたい。 |
|         | 基本的生活習慣             | 基本的な生活習慣が身に付いている          | 87 | 91 | 94  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         |                     | メディアの利用の仕方について指導している      | 87 | 80 | 97  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         | 体 力 向 上             | 体力向上に努めている                | 91 | 88 | 76  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         | 食 育                 | 食に関する教育活動を行っている           | 92 | 9  | 100 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 信頼される学校 | 安 全 管 理             | 児童生徒の安全に気を配っている           | 95 | 92 | 100 | ○安全管理について、施設上の問題でケガが発生するということにはなかった。今後も安全点検を継続して、しっかり行っていく。<br>○学校だよりや学年・学級通信等で、保護者への情報提供は十分にできている。安心安全メールやtetoruも十分に活用できている。<br>○校内研究の面では、本校の平和教育をより計画的に行えるよう、総合的な学習の時間のカリキュラムの見直しを行った。6年間というスパンをかけて、児童に平和を大切にする心を育てていく。                                                                                 |
|         | 情 報 提 供             | 学校の状況は通信やHP等で知ることができる     |    | 95 | 100 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         | P T A ・ 地 域 と の 連 携 | 学校はPTAや地域との連携がとれている       |    | 92 | 100 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         | 職 員 資 質 向 上         | 研修が充実し、資質が向上している          |    |    | 100 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 教育環境    | 環 境 整 備             | 教育環境が充実し、整備されている          |    | 88 | 82  | ○ICTの普及により、教育環境としては年々改善されている。校舎内でも少しずつ環境整備は進んでいるが、特別教室の整理や、学校備品の点検・補充等を進め、改善していく必要がある。休業期間中に点検や職員作業を行う等、計画を立てていく。                                                                                                                                                                                         |
|         | 職 場 環 境             | 学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる |    |    | 94  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

全体的には「概ね良好」という評価であった。児童は全項目で肯定的評価80%を上回っており、保護者、教職員も全項目中1項目以外は肯定的評価80%を上回ることができている。何より「学校が楽しい」と評価している児童が3年連続で90%以上となっており、今後も児童にしっかりと目を向けきめ細かな指導を継続するとともに、保護者の協力を得たり、保護者の声に耳を傾けたりしながら、共に児童を育てていきたい。また、通信等で現在の取組をしっかり保護者に周知することに努めていきたい。

学校評価終了後、領域別に担当を決め、「結果の分析」→「改善策の検討」→「職員への提案」→「全職員で取り組む」という流れで学校評価を活用している。肯定的評価が「80%」を下回る項目がほとんどないが、あ・は・は運動を知っている(保護者・73%)、体力向上に努めている(教職員・76%)については、「4 自己評価」の「分析及び改善策」の欄に記載したような実践を行うことで、改善を図っている。

## 6 学校関係者評価

- ・全般的に良好な結果であり、学校の取組が児童や保護者に評価されていることがわかる。
- ・保護者の評価と教職員の評価が乖離しているある項目がいくつかある。その要因を分析し、対策を打つことが必要である。
- ・体力向上が以前からの課題である。縄跳び等、取り組んでほしい。
- ・読書の時間を十分に確保してほしい。
- ・メディアの利用の仕方については、長崎っ子のためのメディア環境協議会が発信している「ネット・電子メディア利用『ながさき基準』・夜9時まで」の周知を行ってほしい。
- ・いじめ対応について、生活アンケート、お悩み相談フォームなど、発見の手立てを複数とっているのが良い。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 職員は、児童、保護者、地域との信頼関係を損なうことのないように努め、これからも児童が安心して通うことのできる学校づくりを進めていく。
- 保護者や地域の声を真摯に受け止め、学校目標達成のためのPDCAサイクルの中に生かしていく。
- 今回ご指摘いただいたり、要望されたことは、前向きに取り組んでいく。取組が反映できるように来年度の学校評価アンケートの改善も進めていく。
- 学校で取り組んでいることを、保護者・地域に周知できるように、発信の仕方をさらに工夫していく。